

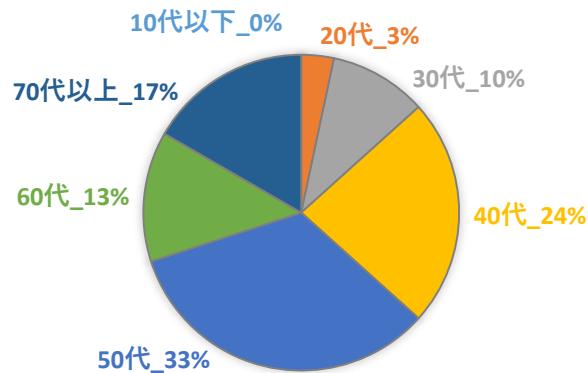
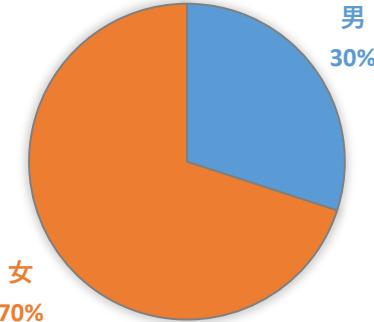
令和7年度 ワーク・ライフ・バランス講演会アンケート結果

実施日 R7.11.7

参加人数 51人

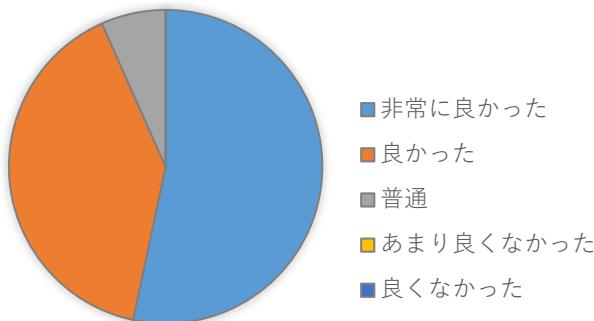
回答数 30件

【回答者属性】



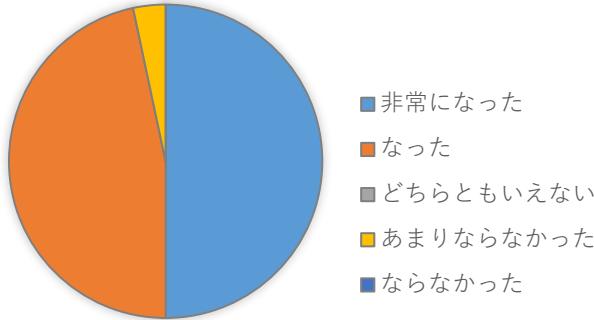
1.本日の講演会の内容について、当てはまるものを1つ選択してください

非常に良かった	53.3%
良かった	40.0%
普通	6.7%
あまり良くなかった	0.0%
良くなかった	0.0%



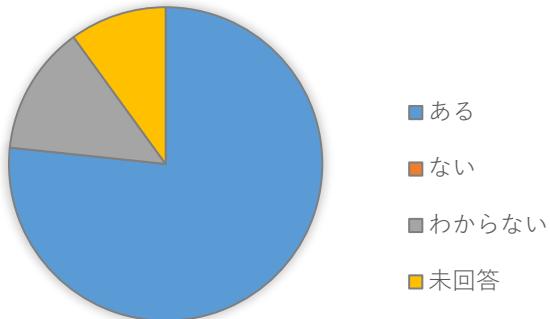
2.自分を振り返るきっかけになりましたか

非常になった	50.0%
なった	46.7%
どちらともいえない	0.0%
あまりならなかった	3.3%
ならなかった	0.0%



3-1.本日の内容で、あなたの生活や職場の取り組みの参考にできそうなことはありましたか

ある	76.7%
ない	0.0%
わからない	13.3%
未回答	10.0%



3-2.それは、どのような点ですか【一部抜粋】

労働、雇用に関する仕事に携わっており、企業さんともやり取りをさせていただくことがあるので、人材不足対策としてもっとワークライフバランスを推進していきたいと思いました。	女	50代
育児短時間勤務について、家事や育児のワンオペに繋がると、ハッとさせられました。また家庭では、息子や孫たちにも家事ができるよう一緒にやろうと声をかけていきたいです。	女	50代
家族（息子）に家事力につけること	女	50代
時短者が多く全員女性。それをおかしいと思っていなかった。男性の家事への参加を呼びかけたい。まずは朝食作りから。たぶん何もしていない人は、何から始めたら良いか分からぬ。	女	40代
職場の男性が、育休を取得にまよっているので、この講演会の話をしたいと思う。	男	50代
私は専業主婦的な感じで、フリーランスで自由に仕事をさせてもらっていますが、私も柱となっていって夫1人の負担や責任をへらしてあげたいと感じました。	女	50代

4.ワーク・ライフ・バランスを進めていくために、最も重要なことは何だと思いますか。

また、進めるうえで課題となっていることは何ですか。

社会的な思想や各企業の現場での意識	男	40代
制度だけが進んでて、肝心の人の考えが追いついていないということ。	女	30代
一個人では家事配分の見直し。社会では上記に伴う出勤時間の対応など（会社の）	男	30代
自分自身にもアンコンシャスバイアスがあると気づくと、何が得するのかということを目の前のことではなく長期的な目でみること。→今の50才くらいの男性はこういう話を企業でしっかり講演、研修を行って聞いてほしい！！	女	50代
型にあてはめないで、柔軟な対応。休む（時短）側とその影響を受ける側の信頼関係。	女	40代
TOPの意識、推進力。会社では、法令義務があるので様々な施策を講じているが、TOPがそれらを知っているのかさえギモンに思う。	女	40代
夫婦相方の理解	女	70代以上
今日の講師のような方の考え方方にふれて、そういう見方があるのかということを知ることが重要だと思いました。（宝くじをあてる方法）少子高齢化をふせぐには	男	60代

5.その他 ご意見・感想など

今回の講演会開催に終わらず、中津川市として変わっていくことを望みます。	女	30代
とても良いお話を聞かせていただきました。市内の企業にもワークライフバランスが進み、特に若い人材の獲得につながると良いなと思いました。	女	50代
頭が柔らかになりました。ありがとうございました。	女	40代
育休、介護休暇などをとり、正規で働いてきました。それでも生活は苦しく、宝くじにあたったという実感はないです。	女	50代
自らのワーク・ライフ・バランスは少子高齢化の改善につながることが分かって非常によかったです。	女	50代
ワーク・ライフ・バランス…豊かな人生を生きるようで大切にしたい考え方だと思いました。	男	60代